

～地域でいち早くブロッコリー等を導入、地域を先導～

布施 将平

国営かんがい排水事業「荒川中部地区」



取組のポイント

- ①国営及び関連土地改良事業を契機に畑かん用水を導入。
- ②かん水作業が省力化され、経営規模を拡大。
- ③畑かん用水を活用し、S50年代に地域で初めてブロッコリーを導入。地域の生産者が増加し、深谷市は全国一のブロッコリー産地へ発展。
- ④スイートコーン（味来）も地域でいち早く導入し、地域ブランドとして市場で高い評価。

経営の概要

従事者数：3人
経営面積：2.7ha
主要作物：水稻 0.2ha
春ブロッコリー1.0ha
秋ブロッコリー1.5ha
スイートコーン1.0ha

取組の経緯と課題

- 地下水が低いため井戸水が使用できず、自宅から軽トラで畑まで水を運び、かん水等に労力を要していた。
- 畑かん用水を使い始めた当時は、カリフラワー生産が地域の主流。
- ブロッコリー導入後は連作障害回避と周年での収入の確保が必要。



埼玉県深谷市

課題への対応

- 国営関連事業により、末端ほ場までパイプラインが整備され、各ほ場に給水栓が設置。
- 関西地域でブロッコリーの需要が伸びていることに着目し、地域で初めてブロッコリーを導入。
- 連作障害回避と周年栽培等を考慮し、スイートコーンの新品種「味来」を地域でいち早く導入。



スイートコーン（味来）

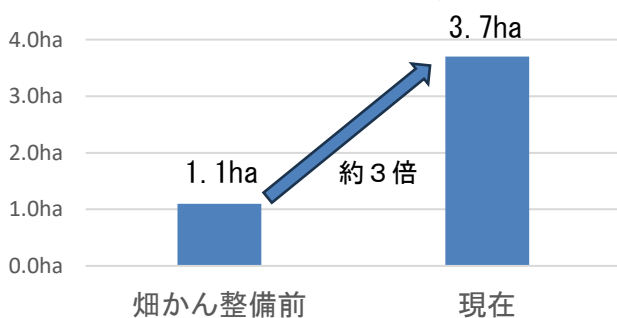
取組の成果

- 水管理作業が軽減されたことで作付面積も1.1haから3.7haまで拡大。
- ブロッコリーは需要が伸び、地域の生産者も増加。深谷市は全国一の産地へ発展。※深谷市は作付面積日本一
- スイートコーンは他地区より多くの有機肥料を投入（4t/10a）するなどにより地域としてブランド化。市場でも高い評価。
- 畑かん整備の新規着工に向け、地区内の取りまとめ役として尽力。



スイートコーン（味来）箱詰め

畑かん整備による作付面積の変化



ブロッコリーへのかん水



事業概要

地区名：荒川中部地区
事業種：国営かんがい排水事業
関係市町：埼玉県本庄市、深谷市及び大里郡寄居町
受益面積：3,212ha
工期：平成26年度～令和8年度
事業目的：農業水利施設改修、用水再編及び地域用水機能の増進
主要工事：頭首工改修 1箇所
揚水機場改修 1箇所
用水路改修 57.1km